

福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう99

マイマイカブリ

分類 コウチュウ目 オサムシ科

住んでいる環境

・森林、河川敷

小鳥の森で見られる時期

・4月～10月

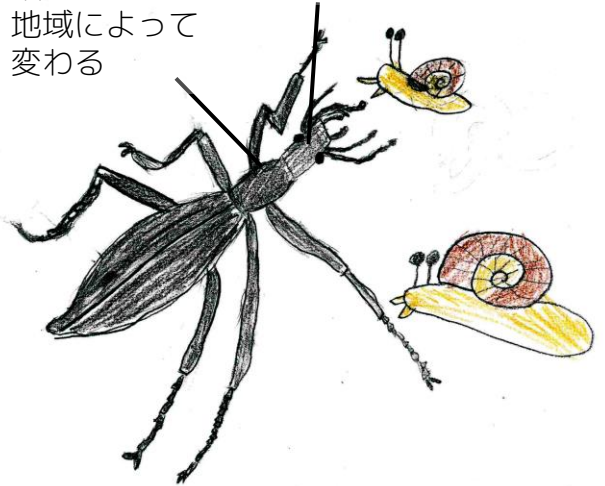
※冬は朽ち木の中で過ごす

小鳥の森で見られる場所

・園内各地

頭とむねの色は
地域によって
変わる

細長いあたま



さとう しゅうが さん(7才)が
かいてくれました。

4月 いきもの森予報

冬鳥と夏鳥

4月は1年の中でも見られる野鳥の種類が多い月になります。というのは、この季節は、日本から北（北日本、ロシア、シベリアなど）へ子育てのために帰っていく鳥（冬鳥）と東南アジアから日本へ子育てのためにやってくる鳥（夏鳥）が同時に見られるからです。季節が進むと木の葉が生い茂げり、野鳥がを見つけにくくなるため、夏鳥を探すのは4月がおススメです！

～4月中に見られる冬鳥（○）・夏鳥（●）～



○ウソ

ヒー、フーと口笛の
ような鳴き声
春先、桜の花芽を
食べます



○マヒワ

オスはきれいなレモン
イエロー
群れで行動しています



○カシラダカ

頭がさかだつて
いるので
「頭高（カシラダカ）」
とよばれています



●キビタキ

福島県の県の鳥
キビタンのモデルにも
なっています



●オオルリ

オスの羽はきれいな
青色
日本3鳴鳥（鳴き
声のきれいな鳥）
のひとつ

今年も

ネイチャーセンターの外の壁にかけてある巣箱を、今年もヤマガラが使いはじめました。巣の材料になるコケを口いっぱいにくわえ、巣箱の中へ運んでいる様子を観察できました。

巣箱の中にはカメラがつけられていて、中の様子をネイチャーセンター内のモニターを通してどなたでも観察できるようになっています。

3月中旬には、ほとんど巣ができあがってきました。これから本番をむかえる子育ての様子を見にいらしてくださいね。



今年のカタクリ

1年のうち春にしか咲かないカタクリ。春のはかない命「スプリングエフェメラル」とも呼ばれます。毎年3月になると、いつ咲くのかと気になる花のひとつです。

今年は芽や葉は例年よりも早い確認となりました。その後、暖かい日が続き、開花も早くなるかと思われましたが、昨年と同じ3月19日が初認となりました。見頃は3月下旬から4月上旬ごろになりそうです。



スタッフだより

オオイヌノフグリの作戦

春に日の当たる場所でたくさんの小さな青い花を咲かせるオオイヌノフグリ。しかし、ひとつの花の命はたった1日。花の役割はタネを作ることなのに、間に合うのでしょうか。タネはめしべの先に花粉がつく受粉（じゅぶん）をするとできます。虫が蜜（みつ）を吸いに来た花はラッキー！動き回る虫の体に花粉がつき、受粉しやすくなります。では、誰も来てくれなかった花は失敗…？いえ、オオイヌノフグリは別のタネを作る仕組みも持っているのです。なんとおしべは時間とともに少しずつ伸びてめしべに近づいていき、夕方にはひとつの花の中でおしべとめしべがくっつき受粉するのです。せっかく咲かせた花をムダにしないオオイヌノフグリ。面白い仕組みの持ち主ですね。

スタッフ くらさわ さちこ



お山の大将あつまれ！ メンバー募集

福島市小鳥の森では、毎年4月からの1年間、「お山の大将あつまれ！」を実施しています。小学生を対象に（兄弟に小学生がいる場合は幼児の参加も可）年間登録制で普段経験する機会の少ない野遊びを中心とした活動を毎月行います。年によって実施する内容は異なりますが、タケノコとりや秘密基地づくり、昆虫採集、毎年恒例の夏のキャンプなど、楽しい内容がもりだくさんです。興味のある方、詳細を知りたい方は福島市小鳥の森までお気軽にお問い合わせください。

< 昨年の活動のようす >



キャンプでのライトトラップ

カブトムシやクワガタなどたくさんの昆虫が集まりました



秘密基地づくり

男の子、女の子チームに分かれてつくりました

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2020年4月号№410 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / 日本野鳥の会ふくしま